



朝晩の空気がヒンヤリと感じる今日この頃、  
スポーツの秋・読書の秋・食欲の秋・どんな秋を楽しみますか。  
実りの秋は外せません。旬のものを、旬の時季にいただくことは、栄養  
価が高く、お値段もお手頃と良いこと尽くしです。

野菜や果物の皮には栄養がたくさん！皮もおいしくいただけるものは、  
食べたいところですね。でも根菜に土壌菌がついていることもあるので、  
よく洗って調理しましょう。私は手軽な、りんご・なす・かぼちゃは、  
皮ごと食べるようにしています。

**秋の実りに感謝し、これからの豊作を願う十五夜**

秋の夜長にちょっと、夜空を見上げてお月様を眺めてみませんか。



衝撃の真実

## 2017年の十五夜は10月4日（水）

9月じゃない

十五夜は、何月何日と決まらず、旧暦の8月15日の夜に行われます。  
お月見は9月7日～10月8日の間に訪れる満月、または満月に近い日要注意  
とされています。なので十五夜は9月とは限らないのです。そして、満月とは  
限らないのです。新月から満月になるまで、実際は14日～16日と、誤差が  
あるので、満月でないことがあるのです。



今年は10月4日も月見団子をたべることにします。

裏面へ



【月のうさぎ伝説】  
 仏教説話がもとになったお話で

昔、あるところにうさぎとキツネとサルがいました。ある日、疲れてたべものを乞う老人に出会いました。サルは木の実や草の実をとってきました。キツネは鳥や魚をとってきました。うさぎは一生懸命がんばりましたが、何もとってくる事が出来ませんでした。

そこで、うさぎは「私をたべてください」といって、火の中にとびこみ自分の身を捧げたのです。その老人は、三匹の行いを試そうとした帝釈天（たいしゃくてん）という神様で、このことを後世へ伝えるために、うさぎを月に昇らせて、月を見るたびに皆がうさぎのことを思い浮かべられるようにしたのです。と言う説もありますが、

一番の有力説は、「月の黒い部分が、うさぎのもちつきに見えた」です。

海外ではいろいろな生き物や人物にたとえられています

カナダ インディアン



バケツを運ぶ少女

アラビア



ほえているライオン

北ヨーロッパ



本を読む女性

南ヨーロッパ



大きなはさみのカニ

世界各国でそれぞれ違いますが、月はいつも地球に同じ面を向けているので月の黒い部分は変化しません。いろいろなものに見える月の模様は、すべて同じものなのです。



【参考】みおねっと:2017十五夜はいつ?見逃したときはこうしよう!  
 NAVERまとめ:【日本はうさぎ】世界各国で違う月に住むとされるいきものたち

